

令和2年度

高等学校【地理歴史】共通問題解答用紙

1 (1)各2点 (2)各2点

(1)	①	公の性質	②	イ	(2)	①	才	②	ウ
-----	---	------	---	---	-----	---	---	---	---

1  
8

2 各2点

(1)	②	(2)	④	(3)	②	(4)	①	(5)	②
(6)	④	(7)	①	(8)	③	(9)	④	(10)	②
(11)	④	(12)	②	(13)	①	(14)	②	(15)	①
(16)	④	(17)	①	(18)	④	(19)	①	(20)	③

2  
40

3 各2点

(1)	⑥	(2)	③
-----	---	-----	---

3  
4

4 各2点

(1)	①	(2)	②
-----	---	-----	---

4  
4

5 各2点

(1)	③	(2)	②	(3)	①	(4)	④	(5)	③
(6)	①								

5  
12

6 各2点

(1)	⑤	(2)	③	(3)	①	(4)	①	(5)	④
(6)	④								
(7)	ア	②	イ	④	ウ	③	エ	①	

6  
20

7 各2点

(1)	②	(2)	①	(3)	③	(4)	③	(5)	④
(6)	②	(7)	④	(8)	①	(9)	④	(10)	③

7  
20

8 各2点

A	(1)	②	(2)	④	(3)	①	(4)	③
B	(1)	③	(2)	④	(3)	③		
C	(1)	③	(2)	②	(3)	④		

8  
20

9 ①, ⑥~⑧ 各1点 その他 各2点

①	考察	②	形成	③	再編	④	結合
⑤	理解	⑥	6	⑦	2	⑧	4

9  
12点

10 ①~⑫ 各1点, (2)(4)(5)(6)(8)(10)(11) 各1点, (1) 2点, (3) 6点, (7) 7点, (9) 11点

①	インド	②	南京	③	虎門寨追加	④	ダール・アルイラム
⑤	シャリーア	⑥	ギェルハネの勅令	⑦	タンジマート	⑧	オスマン
⑨	アブデュルハミド2世	⑩	パン・イسلام	⑪	統一と進歩委員会	⑫	ベルリン条約

(1) 「事大」とは「大に事える」を意味し、周辺諸国・諸民族(小国)が大国(中国)に事えることで、大国からの保護・優遇を獲得することが可能になるということ。

(2) コンバウン朝

(3) 「北西の弦月」は非中国文化圏の地域にあたり、藩部として理藩院によって統治することで、あくまでも北方民族の王朝として支配した。末端の民政については、おのれの自治に委ねられて、それぞれの宗教・生活・社会・文化は保持されるという間接統治を行った。

(4)	熱河	(5)	アマースト	(6)	魏三原
-----	----	-----	-------	-----	-----

(7) 通商を求めて「利」の追求にきつむくとするさまざまな夷狄の集団の中で、一国だけが特権を得ることによって互いに不満をいだき紛争を誘発することがないよう、中国の側で少々の譲歩はしても恩恵を施して「一視同仁」に扱えば夷狄を「羈縻」しやすい、というのが中国の伝統的な国際秩序の論理である。さらに皇帝の恩恵として与えられる以上、この最恵国待遇は「片務的、一方的、そして代償を求めない」ものでなければならなかった。このように非対称的な階層的秩序の頂点に立つと考えられてきた中国にとって、対外関係は「不平等」でなければならず、条約も「不平等」でなければならなかった、と考えることができる。

(8) ミット

10 (8)まで  
32点

(9) クリミア戦争に敗北したロシアは、1856年のパリ条約を締結し、黒海の中立を受け入れ、タタリス・ボスフォラス海峡の軍艦通行禁止を再確認させた。その後ロシアは国内改革を迫られ、1861年にアレクサンドル2世が農奴解放令を出すなど大改革と呼ばれる一連の改革に着手した。しかし1863年のポロツク反乱を機に、皇帝が再び専制政治を強化すると、インテリゲンツヤを中心に農民を啓蒙して社会主義的改革を実現しようとするナロードニキ運動が高まった。しかし、農民の無関心に直面したナロードニキの一部は、テロリズムで政府を倒そうとして、アレクサンドル2世を1881年に暗殺した。この間、黒海経由での南下政策が阻止されたロシアは、バルカン半島でパン=スラブ主義を利用して勢力拡大を図り、1877年にはロシア=トルコ戦争に勝利して、翌78年にサン=ステファノ講和条約によりブルガリアを保護国に置くことを認めさせ、勢力拡大に成功した。しかし、オーストリア=ドイツの反対に遭い、ビスマルクがベルリン条約を結び、ロシアの拡大は抑えられた。ロシアは一時南下政策をひかえ、中央アジア、東アジアへの進出に努めるようになり、1881年には新たな三帝同盟を結んだ。

(10) ブルガリア (11) 「ムスリム人」

10 (9)~(11)  
13点

11 ①~⑦ 1点, (1) 7点, (2) 10点, (3) 7点, (4) 4点, (5) 1点, (6) 6点, (7) 4点

① 領邦 ② ヴァロフ ③ イギリス  
④ ニュー・イングランド ⑤ ケベック ⑥ ルイ14世

(1) アウクスブルクの宗教和議の内容は、諸侯にカトリック・ルター派いずれかの宗教をその支配地域で選択する権利を付与した。しかしカルヴァン派や再洗礼派は認められず、個人の信仰の自由も認められなかった。  
「支配者の宗教に従う(一人の結婚の如く、一つの宗教)」の原則のもと、諸侯が選んだ宗教は領民に課され、諸侯の政治権力のおよぶ空間と宗教的空間が重なり合う領邦教会制が確立した。  
領邦教会制のもとで教会は領邦諸侯の行政組織の中に組み込まれることになり、カトリックの普遍性の喪失という状況が法的に承認されることになった。(政治的・宗教的分裂が決定的となり三十年戦争の遠因となった。)

(2) スレイマン1世は、1526年モハーチの戦いでハンガリーを領有し、1529年には第1次ウィーン包囲をおこなって、カール5世を圧迫した。1538年にはアレクサンドロポリスの海戦で、地中海制海権を獲得した。

11 (2)まで  
23点

(3) イギリスでは、名誉革命後にイングランド銀行が創設され、議会の承認を得て、政府が発行する国債を引き受け、それがロンドンでの金融市場で取引された。東インド会社など特権的特許会社も国債を購入したが、議院内閣制が成立し、徴税の権利を持つ議会の承認を保証したイングランド国債の信用は高く、有利な投資先を模索していたオランダ・アムステルダム金融市場から大量の資金が流入した。財源は、内国消費税や関税など間接税の引き上げで柔軟に対応するとともに、植民地からの財政的収奪にも支えられていた。

(4) 1450年は43gから6gと7倍の価格差があったが、16cにはイギリスに見舞われ、最低値は約20gと価格は3~4倍になった。17cには最高値は緩やかに下がり、18c前半には価格差は急に収束し1750年に最高値75g、最低値38gとその差は約2倍となった。このことから、17cのヨーロッパ市場圏に向かうと解釈できる。

(5) ドイツ連邦

(6) イギリスは、フランスからカナダ、ミシシッピ以東のルイジアナ、西インド諸島の一部、セネガルを、スペインからフロリダを獲得した。スペインはフランスからミシシッピ以西のルイジアナを獲得した。



11 (3)~(7)

22点

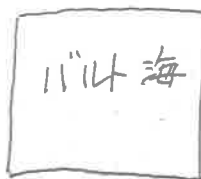
12 20点

<バルト海の覇権推移>

1. 背景 ... 北海とバルト海の結ぶ商業権益を巡る争い

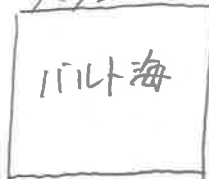
2. 覇権の推移

<13世紀>



ドイツ騎士団領 (1230頃)  
ポーランド  
→内陸国へ

<14世紀>



ドイツ騎士団領 ... 強大化  
= ヤゲロー朝 (14世紀末)  
ポーランド + リトアニア

13~16世紀  
ハンザ同盟の隆盛

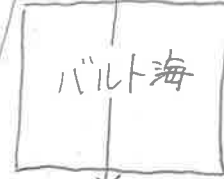
デンマーク  
ノルウェー  
スウェーデン } 14世紀末  
カルマル同盟

対抗策

<17世紀>

ハンザ同盟の衰退

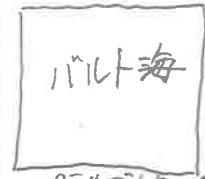
スウェーデン  
(グスタフ・アドルフ)



西ポメラニア獲得  
三十年戦争

<18世紀>

スウェーデン  
(カール12世)



ペテルブルク建設  
ロシア  
(ピョートル1世)

北方戦争

12

20点

受験番号		得点 世界史 その5	20	得点 世界史 合計	122
------	--	------------------	----	-----------------	-----

令和2年度

高等学校【地理歴史】日本史受験者選択問題解答用紙

(その6)

13 (1) 1点 (2) 1点 (3) 各1点×3 (4) 各2点×2 (5) 各1点×3

(1)	地理的条件	(2)	③		
(3)	A 探究	B 見方	C	考え方	
(4)	複数の資料を活用すること		客観的かつ公正な資料に基づくこと		
(5)	D 6	E 2	F	4	

13  
12

14 (1) 各2点×3 (2) 2点 (3) 2点

(1)	A 蘇我馬子	B 物部守屋	C 推古天皇	(2)	③
(3)	新羅との関係が悪化したため				

14  
10

15 (1) 各1点×4 (2) 1点 (3) 1点

(1)	A 北条時政	B 和田義盛	C 後鳥羽上皇	D	公暁
(2)	一般政務や財政事務をつかさどる		(3)	六波羅探題	

15  
6

16 (1) 各2点×2 (2) 2点 (3) 2点 (4) 2点 (5) 2点

(1)	A 徳政	B 国人	(2)	畠山満家	(3)	畠山政長
(4)	畠山泰高	(5)	①			

16  
12

17 (1) 各2点×3 (2) 2点 (3) 2点

(1)	A 禁中並公家諸法度	B 武家伝奏	C 明正	(2)	禁裏小番
(3)	幕府の法度が天皇の勅許への優先を明示した				

17  
10

18 (1) 各1点×4 (2) 1点 (3) 2点

(1)	A 末期養子	B 殉死	C 大日本史	D	朱舜水
(2)	由井(比)正雪	(3)	①		

18  
7

19 (1) 各1点×8 (2) 1点 (3) 1点 (4) 1点 (5) 1点

(1)	ア 津田梅子	イ 女子英学塾	ウ 午謝野晶子	エ	明星
	オ 青鞞社	カ 新婦人協会	キ 治安警察法	ク	赤瀾会
(2)	久米邦武	(3)	③	(4)	旅順
				(5)	社会民主党

19  
12

令和2年度

高等学校【地理歴史】日本史受験者選択問題解答用紙

(その7)

20 (1)各1点×2 (2)2点 (3)1点 (4)1点 (5)2点

(1)	創刊した人物	黒岩 涙香	著述した人物	幸徳 秋水
(2)	憲政党が伊藤博文に接近し、解党して伊藤派官僚とともに立憲政友会を結成したこと			
(3)	石橋 湛山	(4)	ワシントン会議	
(5)	中国に対しては内政干渉方針をとる一方、経済的には中国市場の拡大、満州の特殊権益の維持を図る。			

20

8

21 (1)各1点×4 (2)2点 (3)1点 (4)1点 (5)1点 (6)1点

(1)	A	岡田 啓介	B	浜口 雄幸	C	平沼 騏一郎	D	広田 弘毅
(2)	B → A → D → C			(3)	美濃部 達吉	(4)	天皇	
(5)	ノモンハン事件		(6)	政党				

21

10

22 (1)1点 (2)1点 (3)1点 (4)2点 (5)2点

(1)	佐藤 栄作	(2)	文化財保護法	(3)	④
(4)	1872年に琉球藩を置いて琉球国王の尚泰を藩王とし、1879年に琉球藩を廃止し沖縄県を設置した。				
(5)	(例) 端島 炭坑				

22

7

23 (1)20点満点 (2)8点満点

<戦後の小学校教育は戦前と比べてどのように変容したのだろうか>

(1)	<b>明治</b>	1872 学制公布…小学校教育の普及に力を入れ、国民皆学をめざす	<まとめ> 国家主義教育の 推進 ↓ 自由主義的教育へ (教育の民主化)
		1879 教育令公布	
		1880 改正教育令公布	
		1886 小学校令公布…尋常小学校4年間で義務教育→1907 6年間に延長	
	1890 教育勅語によって忠君愛国が学校教育の基本とされる		
	1903 小学校の教科書が国定教科書に限られる		
	<b>大戦中</b>	1941 小学校が国民学校に改められる	
	<b>占領期</b>	1947 教育基本法制定…教育の機会均等、男女共学の原則	
		1947 学校教育法制定…義務教育が9年間に延長	

(2) 交戦国との講和をめぐる全面講和を主張する日本社会党らの抵抗はあったが、吉田内閣は西側陣営との単独講和を選び、1951年、サンフランシスコ平和条約が締結された。これにより日本は独立国としての主権を回復した。しかし同日、日米安全保障条約が調印された。これに基づき、翌年日米行政協定が結ばれた。日本は駐留軍に基地を提供し、駐留費用を負担することになった。

23

28

受験番号	得点 日本史 その7	53	得点 日本史 合計	122
------	------------------	----	-----------------	-----

24 (1)、(4)各3点×2 (2)、(3)、(5)各1点×6

(1)	地理的存見方や考え方					
(2)	衛星写真		空中写真(景観写真)		(3)	情報通信ネットワーク 地理情報システム
(4)	オ	(5)	④	6	⑤	2
					⑥	4

24

12点

25 各2点×4

①	デリー	②	ダッカ	③	サンパウロ	④	カラチ
---	-----	---	-----	---	-------	---	-----

25

8点

26 各2点×5

ア	エロッコ	イ	ガーナ	ウ	南アフリカ共和国	エ	エチオピア	オ	スーダン スーダン共和国
---	------	---	-----	---	----------	---	-------	---	-----------------

26

10点

27 (1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(7)、(8)、(10)各2点×12 (9)ア2点(完答) (6)、(9)イ各1点×4

(1)	a	②	g	④	(2)	②			
(3)	綿花栽培のために、湖に流入する河川から大量に取水したため。								
(4)	①	断層湖(地溝湖、構造湖)		②	氷河湖(氷食湖)				
(5)	ア	キリスト教	イ	ユダヤ教	ウ	イスラム教 イスラーム			
(6)	C国	バクー	J国	トロント	(7)	④	(8)	コーヒー豆	
(9)	ア	①	ドイツ	②	フランス	③	イタリア	④	ロマンシエ レートロマン
	イ	⑤	キリスト	⑥	イスラム イスラーム	(10)	⑤		

27

30点

28 (1)、(2)、(3)ウ成田、(5)各2点×8 (4)、(6)各2点(完答)×2 (3)ア、(3)イ、(3)ウ名称各1点×4 (7)4点

(1)	ア	パル(コンボルト)海流								
	イ	砂漠	ナミブ砂漠		寒流	ベンゲル海流				
	ウ	偏西風が吹き抜けるアンデス山脈の風下に位置するため。								
(2)	ア	ユニニャ現象		イ	②					
(3)	ア	(a)	アマゾン川		(b)	ラプラタ川				
	イ	セルバ		ウ	名称	エステアリー 三角江				
	ウ	成因	(広大な構造平野に位置する) 河川の河口部が沈降(沈水)して生じた。							
(4)	北	BW	BS	Cs	Cfb	ET(Cfc)	南			
(5)	①	(6)	Q国	②	R国	①	S国	④	T国	③



28

28点

受験番号	得点 地理 その8	88.5
------	-----------------	------



29 (1), (3), (4) 各2点 x 5 (2) 4点

(1)	時代	ウ	形態	カ	名称	セ
(2)		短冊状	の地割	の耕作地	を持ち、大都市近郊	
		から	都市部に	野菜などを	出荷する	園芸農業
(3)		②	(4)	①		

29  
14点

30 20点

アメリカ合衆国の工業地域

＜五大湖沿岸＞

- 水運
- 鉄山産地

＜ニューイングランド＞

- 最も早く繁栄

＜中部大西洋岸＞

- マサチューセッツの大市場
- 臨海立地

ラストベルト (錆びついた工業地帯)

- 製造業、鉄鋼業などの斜陽産業

フロストベルト

アメリカ工業の核心地域

変化の理由

- 日照時間の長い温暖な気候
- 低廉な労働力
- 安価な広い用地
- 税制上の優遇措置

カリフォルニアへの移転

サンベルト

1970年代以降、ハイテク産業の進出が著しく企業や人口の増加がみられる

30  
20点